

みずほ Customer Desk Report 2019/10/10号 (As of 2019/10/09)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	107.10 AUD/USD
TKY 9:00AM	106.95	1.0960	117.23	1.2217	0.6729
SYD-NY High	107.63	1.0990	118.09	1.2292	0.6750
SYD-NY Low	106.94	1.0955	117.23	1.2198	0.6723
NY 5:00 PM	107.48	1.0971	117.92	1.2205	0.6725

NY DOW	26,346.01	181.97	日本2年債	-0.3200	0.00bp
NASDAQ	7,903.74	79.96	日本10年債	-0.2100	0.00bp
S&P	2,919.40	26.34	米国2年債	1.4677	4.22bp
日経平均	21,456.38	▲ 131.40	米国5年債	1.4078	5.20bp
TOPIX	1,581.70	▲ 4.80	米国10年債	1.5863	5.48bp
シカゴ日経先物	21,595	240	独10年債	-0.5505	4.55bp
ロンドンFT	7,166.50	23.35	英10年債	0.4600	4.60bp
DAX	12,094.26	124.06	豪10年債	0.8815	0.15bp
ハンセン指数	25,682.81	▲ 210.59	USDJPY 1M Vol	6.90	▲ 0.20%
上海総合	2,924.86	11.29	USDJPY 3M Vol	6.70	▲ 0.13%
NY金	1,512.80	8.90	USDJPY 6M Vol	6.93	▲ 0.10%
WTI	52.59	▲ 0.04	USDJPY 1M 25RR	-1.25	Yen Call Over
CRB指数	173.07	▲ 0.25	EURJPY 3M Vol	6.99	▲ 0.11%
ドルインデックス	99.12	▲ 0.02	EURJPY 6M Vol	7.35	▲ 0.02%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想	
10月9日	20:00	米 MBA住宅ローン申請指数	-	5.2%	8.1%
	23:00	米 卸売在庫(前月比)	8月	0.2%	0.4%
10月10日	3:00	米 FOMC議事録	「緩和終了時期について議論を開始」		

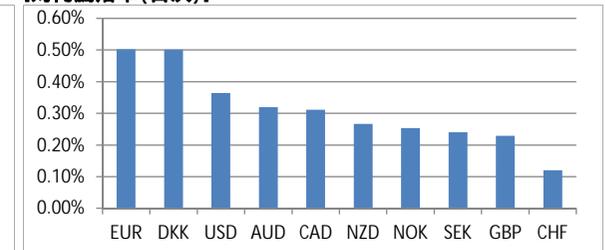
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月10日	8:50	日 国内企業物価指数(前月比/前年比)	9月 0.0%/-1.1%	-0.3%/-0.9%
	15:00	独 貿易収支/経常収支	8月 18.8b/17.9b	21.6b/22.1b
	17:30	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	8月 0.1%/-0.8%	0.1%/-0.9%
	17:30	英 製造業生産(前月比/前年比)	8月 0.2%/-0.4%	0.3%/-0.6%
	21:30	米 CPI(前月比/前年比)	9月 0.1%/1.8%	0.1%/1.7%
	21:30	米 コアCPI(前月比/前年比)	9月 0.2%/2.4%	0.3%/2.4%
10月11日	21:30	米 新規失業保険申請件数	-	220k
	1:30	米 デイリー・サンフランシスコ連銀総裁講演		219k
	6:30	米 メスター・クリーブランド連銀総裁講演		

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケットインプレッション】動かないドル円と動く東証REIT指数

ドル円相場がレンジで推移する中、本邦REIT市場は活況を呈している。日経平均株価やTOPIXが2019年度上期をほぼ横ばいで取引終えた一方、東証REIT指数は14%近くの上昇を達成。年度初からほぼ一本調子での上昇となっており、足許では心理的節目である2,000を大きく上振れ2,240レベルで推移している。この上昇モメンタムを維持できている理由のひとつが、好調なファンダメンタルズと低金利環境の継続である。三鬼商事が公表する都心5区のおフィス空室率は、2012年半ばの9.43%をピークに低下し、2019年8月末時点で1.71%と大きく改善。平均賃料も着実に上昇基調をたどっている。東京都内に大型再開発ビルが次々と出来上がる中においても、良好な数字を示しており、ファンダメンタルは堅調の一言である。加えて、国内金利の低金利環境が継続する中、債券代替としてのREIT投資は広く機関投資家に受け入れられており、資金流入は継続的に見られる。また、着実な配当を見込めることから個人投資家の根強い人気もあることから、相場を押し上げていると考えられる。年間900億円の買入れを行うとしている日本銀行の購入も、安心材料である。2015年の買入れ開始以降年間900億円の買入れ額を守ってきたものの、2018年は564億円にとどまった。2019年上期の買入れ実績も276億円にとどまっており、相応の買入れ余力を残したままである。こうした買い材料が、東証REIT指数の上昇を支えていると思われる。レンジ圏を抜け出せないドル円相場、なかなか上抜けしない日経平均株価と心躍るような相場は少ないが、REIT市場にも注目してみても、(原田)

東京	東京時間のドル円は106.95レベルでオープン。米中摩擦の激化が懸念されるも、朝方からドル円は底堅い動きで107.21まで上昇。しかし、やはり米中通商協議を控えるなか積極的にポジションを傾ける動きは限定的で、その後は動意なく推移し107.19レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、107.19レベルでオープンし、米中協議関連のヘッドラインに左右される展開が継続。10日開催される米中協議の前に、米企業との取引を制限するフラックリストの拡大を行ったにも拘わらず、中国はまだ米国との部分的な貿易協定への合意にオープンとの報道が流れると、ドル円は107.43まで上昇。その後、中国は米国の農産物100億ドル相当の追加購入を提案すると英紙FT紙が伝えたが、米中の貿易戦争を恒久的に終わらせるような幅広い合意には繋がる可能性が依然低いとの見方が重しとなり、ドル円の上昇は限定的。結局107.40レベルでNYへ渡った。ポンドは1.2206レベルでオープン。アイルランド国境問題に関してEUが大きな妥協をしないとの報道を受け、合意なき離脱が避けられる期待感からポンドは一時1.2292まで買われる。しかし、その後は、北アイルランド保守政党DUPが同提案を拒否したとの情報が流れると、1.22台前半まで反落。結局1.2224レベルでNYへ渡った。(ロンドン・トルフィ - 00531 444 179 マルビル)
ニューヨーク	海外市場のドル円はじり高推移。107円手前でスタートしたドル円は、日本株が下げ幅を縮小する動きを受けて107円台を回復。その後、「中国は米国と部分的な貿易合意にオープン」、「中国は米国産大豆の追加購入を提案」とのヘッドラインが伝わり、107.43まで上昇し、107.40レベルでNYオープン。海外時間の流れを引き継ぎ、米中貿易摩擦への過度な懸念が後退する中、朝方は107.40近辺で底堅く推移。午後にかけては米金利の上昇を横目に107.50手前までじりじりと上昇。その後、米10年債入札結果を前に売りが先行し、金利が上昇するとドル円も上昇し、高値107.63をつける。14時発表のFOMC議事録では、前回のFOMCで緩和政策の終了時期について議論されたことが明らかになったものの、ドル円の反応は限定的だった。終盤にかけては、明日から開催予定の米中間級協議を控え、様子見ムードが強まり、107.50近辺で小動きとなり、107.48レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは、「EUがブレグジット交渉で大幅に譲歩する用意がある」との一部報道を受けて急伸したポンドに連れ高となり、1.0990まで上昇。しかし、先週から今週にかけて、上値を抑えられていた1.1000近辺では上値が重くなり、小幅反落後、1.0979レベルでNYオープン。新規取引材料が乏しい中、値幅は限られ1.0968-1.0984で推移する。FOMC議事録への反応も限定的だった。終盤にかけても動意に乏しい展開が続き、結局、1.0971レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 原田・玉井 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

	竹内	加藤	関	光石	岡本	上野	原田	玉井	森谷	ブル	ベア
Today	ベア	フル	ベア	フル	ベア	フル	フル	ベア	ベア	4	5
Week	ベア	ベア	ベア	フル	フル	フル	フル	ベア	ベア	4	5